

土地の資源を活かし
有効活用するための

「森を守るサイクル」

夏は涼、真冬は寒冷の標高600m程の山間部
自然豊かな山里福地で過ごす時間の中で
人の暮らしと山の共生について考えよう

1 伐採跡地の再造林 (地拵え、植林)

良好な成長を遂げた人工林は
主伐し、伐採跡地は再造林(地拵え、植林)
により、次世代の森林造成に取り組みます。
白い柱状のものは小さな苗木を野生動物の
食害から守るための筒です。



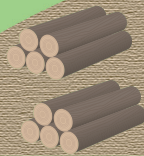
八百津の森を持続する活動って?

木材も地産地消で輸送距離を短くすれば
温室効果ガス排出削減にもつながる



いろいろむらに隣接した場所
に簡易製材機があります。
簡単な素材ならここで作る
ことができます。

3 製材



森を健康な状態に育てる



2 伐採・間伐

伐採は木を切るという意味ですが、植林後ある程度育った段階
の木々を間引くことを間伐と言い、残した木を大きく成長させ
るためには不可欠な作業です。
木の根本にV字状の切り込みを入れた後、反対側も切り込み、
バランスを上手く崩し自重で倒していきます。

4 生活に取り入れる

「自然とともに暮らすこと」木の雑貨を使ってみたり、森を感じる場
所に行ってみたり。気軽な体験を楽しむことから始めませんか。
小さな家とは、建築確認申請のいらない床面積10㎡以下の家のこと。
新たな住まい方の提案です



岐阜の木の魅力がぎゅっと詰まった
「小さな家」に泊まることができます。

たとえば...

福地のシンボルで町の最高峰
見行山(けんぎょうざん)

散策する

登山道入口(標高650m)から
人工林を抜け、緩やかな山
道を進んで山頂(標高905m)
を目指します。山頂から見
渡す景色は絶景で、天気
が良ければ近隣市町村の街並みや名古屋市の高層ビル群、
中央アルプス、御嶽山などが見渡せます。



*いろいろむらから山頂(905m)までは片道約1時間です。

山の資源に守られながら暮らしてきた
昔ながらの生活を体験してみよう

泊まる

小さな家

岐阜のスギやヒノキをふだんに
使った「小さな家」には実際に宿
泊できます。木の持つ温かみに困
まれた暮らしを体感しましょう。
ウッドデッキで森を抜けてくる風
を感じながら、木々を眺め時を過
ごすこともおすすめです。



敷地内に炭焼き小屋や水車小屋、母屋には五右
衛門風呂や囲炉裏、かまどがあり山の資源を利用
していた昔の暮らしを知ることができます。



誰でも一度は感じたことがある、
森の中の心地良さを活用

活用してみる

体験講座

福地の森林環境や、木材を
ふだんに使った建物の中
で木の心地よさや癒し効果
を体感したら、自身の日常
生活へ「木」を積極的に取り入れることを考えてみましょう。



*八百津町内で開催される森と木の活用体験講
座の詳細と案内はこちらのQRコードから。

